

平成 28 年度静岡県地球温暖化防止活動知事褒賞の受賞者について

■応募総数：28 件

○温室効果ガス排出削減対策部門	大企業の部	4 件
	中小企業の部	10 件
○地球温暖化防止普及・啓発部門	学校の部	5 件
	個人・団体の部	9 件

■審査：県民、事業者、関係団体、地球温暖化防止活動推進センター、行政機関等で構成する静岡県地球温暖化防止県民会議の広報普及部会において審査・選考。

■選考結果

部門	被表彰者	標題	事例概要	評価のポイント
温室効果ガス排出削減対策部門	大企業等の部 株式会社 大川原製作所 (吉田町)	省エネ乾燥設備の提案販売等によるCO ₂ 排出量削減	ヒートポンプを利用したハイブリット乾燥システムなどの開発・販売や既設の乾燥設備の燃料転換の提案等を通じ、CO ₂ 排出量の削減に寄与	省エネ性能の高い製品開発と、継続的な他社への削減提案により、高い波及効果が期待できる点
	中小企業等の部 磐田化学工業株式会社 (磐田市)	発酵によって廃棄物処理と製造をリンクさせた「リサイクルループ」の提案	食品廃棄物をバイオマス発電に活用し製造した製品を顧客工場に販売、そこから排出された廃棄物を処理する「リサイクルループ」を構築	社会問題でもある食品廃棄物を有効活用しており、顧客への波及が期待できる点
地球温暖化防止普及・啓発部門	学校等の部 学校法人静岡理工科大学 星陵中学校・高等学校 (富士宮市)	バイオメタンを利用した新しい暮らしを提案する教育プログラムの開発と実践	中高一貫教育を活かし、再生可能エネルギーのバイオメタンを利用した4年間の学習から実証実験を段階的に行う教育プログラムを、東北大学と連携し実施	継続的な教育で生徒の取組を深めるとともに、実証実験など外部機関と連携した専門性の高い教育を行っている点
	個人・団体の部 山脇 一 (愛称 一休) (浜松市)	HAMA 零山脇一休の「CO ₂ ゼロエミッションへの夢チャレンジ」	世界初のソーラーボートイベントや、ソーラーバイクレースを開催するなど、継続的な普及啓発を実施するとともに、親子教室等を開催し、地球温暖化防止の人材教育を実施	個人による先進的・長期的な取組と、楽しいイベントにより、普及啓発を行っている点

■表彰式：ふじのくにエコチャレンジCUPにおいて表彰

(平成 29 年 2 月 25 日 (土) 男女共同参画センター あざれあ)